

# 秋田工業高校近況

秋田県立秋田工業高等学校 校長  
西 聡



東京秋工会の皆様には日ごろより母校の充実発展のため、物心両面にわたり温かいご支援を賜っておりますことに心より感謝申し上げます。

さて、私から申すまでもなく、秋田工業高校にとって本年は記念すべき学校創立110周年の年です。県内屈指の歴史と伝統を誇る工業高校として、明治37年(1904年)の創立から満110年を迎えました。校歌の一節に「金砂健児の指さす所、希望の光世界を輝らす」とあるとおり、三万余名もの同窓生は、秋田県や日本のみならず、世界の様々な地域で活躍し、工業界はもとより、広く経済界やスポーツ界を始めとする、あらゆる分野で、多くの輝かしい業績を上げられております。

現在、学校の生徒玄関前には生徒から募集したキャッチフレーズ「受け継ぐ技術、日々への挑戦 ～未来を拓く金砂健児～」という看板を掲げております。

ここで、記念行事についていくつか紹介します。

- ・記念式典 9月26日(金) 午後1時 秋田県民会館
- ・記念講演会 午後2時30分  
講師 植松勉氏(株式会社植松電機専務取締役)
- ・記念祝賀会 午後5時 秋田キャッスルホテル
- ・招待試合 5月 1日(木)  
硬式野球 本校 3-7 岩手県一関学院高校  
ラグビー 本校 22-22 札幌山の手高校

本年度の秋田工業高校は新入生210名を迎え、生徒652名、教職

員87名でスタートしました。少子化により1クラスの定員が1, 2年生で35名となった編制に加え、5学科6学級の構成は往時と比べ半分の勢いですが、生徒はすこぶる元気です。部活動では昨年度、インターハイや全国大会にラグビー、陸上競技、テニス、空手道、柔道、ボクシング、バドミントン、体操、少林寺拳法の各部門が出場しました。また、メカクラブレーシング班はエコデンレースで3位入賞を果たしています。

工業の真骨頂であるものづくりでも頑張っています。竿燈まつりです。参加2年目の昨年はお囃子を乗せる屋台を各学科の得意技を生かし自作して臨みました。木材加工や組み上げは建築研究部が中心となり、電気科課題研究チームが電気配線を、機械科が溶接部分を担当し完成にこぎつけました。お囃子屋台を自前で持てたことで、竿燈本番では経験者に初心者も加わり生徒による差し手とお囃子が一体となった演技を披露することができました。110周年に勢いを付ける教育活動ができたものと思っています。

校舎建築工事は平成29年度末までの長きにわたる事業ですが、いよいよ槌音が本格的に聞こえてまいりました。

本年も東京秋工会の皆様には変わらぬ御支援御協力をお願い申し上げます。

(写真は校舎建築風景 真ん中:新体育館、右上:武道場、上:音楽棟、左:現体育館)



## 澤木萬國特許事務所

内外国への特許、実用新案、意匠、商標出願、侵害事件についての相談・鑑定・調査

所長弁理士 澤木 誠一  
(昭和26年 電気科卒/東京秋工会名誉会長)

弁理士 澤木 紀一

〒105-0003 東京都港区西新橋1丁目18番11号 ル・グラシエル BLDG.16 4F

TEL : 03 - 3501 - 0937 (代) FAX : 03 - 3595 - 0059

E-mail : sawaki.pat@mbd.nifty.com